

検証シート（教育・人材育成、福祉等に係る分野）

※検証シートの記載方法

①成果指標の達成状況:

<区分> 「目標達成」:100%以上 「達成見込」:70%以上～100%未満
 「進展」:50%以上～70%未満 「進展遅れ」:50%未満

<算定式> 達成率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (令和3年度目標値 - 基準値)

②政策ツールの達成状況:

<区分> 「達成」:90%以上 「概ね達成」:75%以上～90%未満
 「進展」:60%以上～75%未満 「進展遅れ」:60%未満

<算定式> 達成率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (評価年度目標値 - 基準値)

沖縄振興審議会総合部会専門委員会配布資料

令和元年11月1日(金)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標					背景・要因の分析			
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 【進展遅れ】			
1. しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.4%(H30)	進展遅れ				
2. 文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)	進展				
3. 史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)	目標達成				
4. 市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)	進展遅れ				
政策ツール					(2)文化財の指定件数 【進展】			
主な予算事業							(3)史跡等への訪問者数 【目標達成】	
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況		
しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H29～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ		
しまくとぅば体験機会の創出(H25～H28)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ		
しまくとぅば学習活動の支援(H24～R3)(教育庁)	—	—	高校において、授業や特別活動等の中で琉球諸言語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展		
しまくとぅば活用連携協力事業(H24～R3)(教育庁)	—	—	小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話会等を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	進展		
地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)市町村文化協会会員数 【進展遅れ】
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
県文化財保護審議会の開催(H24～R3) (教育庁)	県単事業	2百万円	沖縄県の文化財保護のため、文化財保護審議会を開催するとともに、専門部会において調査を行う	【H30年度目標】 文化財保護審議会の開催1回	【H30年度実績】 文化財保護審議会の開催2回	達成	
史跡等の整備(H24～R3) (教育庁)	各省補助	1,451百万円 (1,169百万円)	国指定・県指定の史跡・名勝の保存整備事業を実施する	【H30年度目標】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:16件	【H30年度実績】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:15件	達成	
島くとうば保存・継承の取り組み(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	80百万円 (49百万円)	島くとうばの継承発展に向けて、普及啓発等を行う	島くとうば小冊子の配布や活用率、HPでの公開等	【H24～H29年度】 達成市町村割合 71%	進展	
与那国島歴史文化交流支援事業(H25～H28) (与那国町)	市町村事業 ソフト交付金	316百万円 (253百万円)	与那国島に関する多種多様な資料を島内外へアピールすることを目的とした「与那国歴史・文化・交流資料館」を整備する	【H28年度目標】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	【H28年度実績】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	達成	
琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業(H25～R3) (総務部)	ソフト交付金	631百万円 (504百万円)	歴史資料である琉政文書をデジタル化しインターネットで公開する	【H30年度目標】 公開文書へのアクセス数:26,000アクセス	【H30年度実績】 公開文書へのアクセス数:24,267アクセス	達成	
在米沖縄関係資料収集公開事業(H29～R3) (総務部)	ソフト交付金	30百万円 (24百万円)	米国国立公文書館所蔵の戦後の米国統治に関する写真等を収集しインターネットで公開する	【H30年度目標】 写真・動画の収集6,300点	【H30年度実績】 写真・動画の収集6,314点	達成	

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 沖縄県芸術文化祭参加者数	10,000人	6,887人(H22)	8,090人(H30)	進展遅れ
2. 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数	12,500人/年	11,600人/年(H23)	12,199人/年(H30)	進展
3. 伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)	15,301人	1,519人(H23)	11,194人(H30)	達成見込
4. 文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数	13,000人	11,834人(H23)	11,881人(H30)	進展遅れ
5. 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)	65%	58%(H23)	67.3%(H30)	目標達成

背景・要因の分析

(1)沖縄県芸術文化祭参加者数
【進展遅れ】

(2)沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数
【進展】

(3)伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)
【達成見込】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄県芸術文化祭事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	沖縄県芸術文化祭を開催し、県民の多様な芸術文化活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供する	【H30年度目標】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	【H30年度実績】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	達成
青少年文化活動事業費(H24~R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟等が行う派遣費助成への補助を行う	【H30年度目標】 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数12,000人	【H30年度実績】 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数12,199人	達成
伝承者養成・技術錬磨事業(H24~R3) (教育庁)	県単事業	26百万円	各無形文化財保存会等が若手実演家・技術者を対象に行う実技研修等に補助を行う	【H30年度目標】 伝承者の養成数1,400人	【H30年度実績】 伝承者の養成数1,482人	達成
文化振興事業費(H24~R3) (教育庁)	県単事業	5百万円	県・文化庁・財団等が主催する芸術鑑賞機会提供事業を実施する	【H30年度目標】 鑑賞児童生徒数12,650人	【H30年度実績】 鑑賞児童生徒数11,881人	進展遅れ
教育研究事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	1,149百万円	沖縄県立芸術大学における教育活動及び教員による研究活動を推進する	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)67.3%	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
芸大就職キャリア支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓などの就職キャリア支援事業を実施する。	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 67.3%	達成
デザイン・くくり担い手育成事業(H24～R3) (南風原町)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (40百万円)	伝統工芸品である琉球絣の生産工程のひとつである「デザイン・くくり」の技術者を育成する	【H29年度目標】 デザインくくり技術者4名育成	【H29年度実績】 デザインくくり技術者4名技術取得	達成

(4)文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数
【進展遅れ】

(5)県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)
【目標達成】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 県立博物館・美術館の入場者数	500,000人	452,502人(H22)	504,894人(H30)	達成見込
2. 国立劇場おきなわの入場者数	64,000人	62,497人(H23)	58,417人(H30)	進展遅れ
3. 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数	147,000人	149,527人(H23)	167,671人(H30)	目標達成
4. 県文化協会加入率	70.7%	63.4%(H23)	65.8%(H30)	進展遅れ

背景・要因の分析

(1)県立博物館・美術館の入場者数
【目標達成】

(2)国立劇場おきなわの入場者数
【進展遅れ】

(3)県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数
【目標達成】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
博物館・美術館の管理運営 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	748百万円	博物館常設展示の魅力アップや沖縄美術史の認知度向上等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む	【H30年度目標】 入館者数 474,000人	【H30年度実績】 入館者数 504,894人	達成
伝統芸能公演への支援 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	260百万円	国立劇場おきなわと連携して、伝統芸能公演を開催し、若手実演家の育成を図る	【H30年度目標】 伝統芸能公演の開催件数 13件	【H30年度実績】 伝統芸能公演の開催件数 13件	達成
沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	899百万円 (719百万円)	文化芸術活動の持続的発展を図るため、地域の伝統芸能など文化芸術活動に対して補助を行う	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成
沖縄県文化振興会への支援と連携(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	260百万円	(公財)沖縄県文化振興会が実施する文化事業等に対する補助を行う	【H30年度目標】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 147,758人	【H30年度実績】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 167,671人	達成
地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

政策ツール

(4)県文化協会加入率
【進展遅れ】

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
生涯学習・文化振興拠点整備事業(H24～H28) (うるま市)	市町村事業 ソフト交付金	1,962百万円 (1,438百万円)	【H28年度目標】 文化振興及び生涯学習を 振興するための拠点施設 を整備する	【H28年度実績】 生涯学習・文化振興拠点 施設の本体工事完成	生涯学習・文化振興拠点 施設の本体工事完成	達成

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数	40,000人	14,960人(H23)	34,419人(H30)	達成見込
2. 世界エイサー大会の来場者数	6,000人	64,900人(H23)	1,500人(H30)	進展遅れ
3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)	700人	10人(H23)	535人(H30)	達成見込
4. 県外・海外からの空手関係者来訪数	9,400人	80人(H24)	7,169人(H30)	達成見込

背景・要因の分析

(1)県が支援した文化交流イベントの来場者数
【達成見込】

(2)世界エイサー大会の来場者数
【進展遅れ】

(3)文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)
【達成見込】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
文化観光戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成
世界エイサー大会開催支援事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業	97百万円	県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する	【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人	【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人	概ね達成
芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	23百万円 (18百万円)	書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%	達成
芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	145百万円 (116百万円)	音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%	達成

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	578百万 (462百万円)	国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る	【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人	【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人	達成
伝統行事・イベントへの支援 (H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	521百万円 (293百万円)	各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う	行事・イベントへの来場者数等	【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%	概ね達成

(4)県外・海外からの空手関係者来訪数
【達成見込】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

成果指標						背景・要因の分析																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)</td> <td>6,021人</td> <td>0人(H23)</td> <td>5,258人(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数</td> <td>13,000人/年</td> <td>521人/年(H23)</td> <td>15,375人/年(H30)</td> <td>目標達成</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	1.	伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)	6,021人	0人(H23)	5,258人(H30)	達成見込	2.	県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	13,000人/年	521人/年(H23)	15,375人/年(H30)	目標達成	<p>(1)伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計) 【達成見込】</p>																
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																																			
1.	伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)	6,021人	0人(H23)	5,258人(H30)	達成見込																																			
2.	県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	13,000人/年	521人/年(H23)	15,375人/年(H30)	目標達成																																			
政策ツール						<p>(2)県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数 【目標達成】</p>																																		
<p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業・取組 (事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の伝統行事の保存継承や活用を図る取組(H24~R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>57百万円</td> <td>地域の伝統芸能を集めた公演、及び各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する</td> <td>【H30年度目標】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回</td> <td>【H30年度実績】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>文化情報等プラットフォーム形成推進事業(H29~R1) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>25百万円 (20百万円)</td> <td>文化資源を活用した観光誘客を推進するため、県内各地に受け継がれている伝統行事や地域芸能などのイベント情報を一元化したポータルサイトを構築し、情報発信を行う</td> <td>【H30年度目標】 サイトのアクセス件数 30,000件/年</td> <td>【H30年度実績】 サイトのアクセス件数 35,637件/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>古民家の保全・継承(H25~R3) (土木建築部)</td> <td>内閣府補助</td> <td>10百万円 (5百万円)</td> <td>地域に根付いた古民家を保存・活用し、地域の活性化を図るため、シンポジウムを行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う</td> <td>【H30年度目標】 シンポジウムの開催 1回</td> <td>【H30年度実績】 シンポジウムの開催 1回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>文化財の保存及び文化財周辺の整備(H24~R3) (複数市町村)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>588百万円 (471百万円)</td> <td>文化財を保存するとともに、文化財を観光資源として活用するための周辺整備を行う</td> <td>文化財保存のための調査及び整備、文化財の説明板設置や散策道等の整備等</td> <td>【H24~H29年度実績】 達成市町村割合100%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	地域の伝統行事の保存継承や活用を図る取組(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	地域の伝統芸能を集めた公演、及び各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する	【H30年度目標】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	【H30年度実績】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	達成	文化情報等プラットフォーム形成推進事業(H29~R1) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	25百万円 (20百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、県内各地に受け継がれている伝統行事や地域芸能などのイベント情報を一元化したポータルサイトを構築し、情報発信を行う	【H30年度目標】 サイトのアクセス件数 30,000件/年	【H30年度実績】 サイトのアクセス件数 35,637件/年	達成	古民家の保全・継承(H25~R3) (土木建築部)	内閣府補助	10百万円 (5百万円)	地域に根付いた古民家を保存・活用し、地域の活性化を図るため、シンポジウムを行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う	【H30年度目標】 シンポジウムの開催 1回	【H30年度実績】 シンポジウムの開催 1回	達成	文化財の保存及び文化財周辺の整備(H24~R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	588百万円 (471百万円)	文化財を保存するとともに、文化財を観光資源として活用するための周辺整備を行う	文化財保存のための調査及び整備、文化財の説明板設置や散策道等の整備等	【H24~H29年度実績】 達成市町村割合100%
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																		
地域の伝統行事の保存継承や活用を図る取組(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	地域の伝統芸能を集めた公演、及び各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する	【H30年度目標】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	【H30年度実績】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	達成																																		
文化情報等プラットフォーム形成推進事業(H29~R1) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	25百万円 (20百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、県内各地に受け継がれている伝統行事や地域芸能などのイベント情報を一元化したポータルサイトを構築し、情報発信を行う	【H30年度目標】 サイトのアクセス件数 30,000件/年	【H30年度実績】 サイトのアクセス件数 35,637件/年	達成																																		
古民家の保全・継承(H25~R3) (土木建築部)	内閣府補助	10百万円 (5百万円)	地域に根付いた古民家を保存・活用し、地域の活性化を図るため、シンポジウムを行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う	【H30年度目標】 シンポジウムの開催 1回	【H30年度実績】 シンポジウムの開催 1回	達成																																		
文化財の保存及び文化財周辺の整備(H24~R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	588百万円 (471百万円)	文化財を保存するとともに、文化財を観光資源として活用するための周辺整備を行う	文化財保存のための調査及び整備、文化財の説明板設置や散策道等の整備等	【H24~H29年度実績】 達成市町村割合100%	達成																																		

沖縄21世紀ビジョン基本計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 工芸品生産額	65.0億円	41.3億円(H22)	40.2億円(H29)	進展遅れ
2. 工芸産業従事者数	2,000人	1,707人(H22)	1,791人(H29)	進展遅れ
3. 従事者一人当たりの工芸品生産額	3,300千円	2,422千円(H22)	2,244千円(H29)	進展遅れ

(1)工芸品生産額
【進展遅れ】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
工芸産業振興基盤の整備 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	674百万円 (476百万円)	人材育成や貸し工房、異業種交流の場、展示・販売等の機能を備えた拠点施設の整備	【H30年度目標】 埋蔵文化財発掘調査の完了	【H30年度実績】 埋蔵文化財発掘調査の完了	達成
後継者等人材の育成 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	130百万円 (百万円)	各産地が行う後継者育成事業への補助。また、紅型等4分野の若手工芸技術者に対し、基礎的及び専門的な技術研修を実施	【H30年度目標】 後継者育成補助組合数：6件 高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施)：17人	【H30年度実績】 後継者育成補助組合数：6件 高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施)：12人	達成
原材料の安定確保 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	29百万円 (百万円)	喜如嘉の芭蕉布に使用される芭蕉糸の採織技術者の育成研修等と、琉球藍に関する基礎データ収集および研究等を実施	【H30年度目標】 糸芭蕉の生産技術者養成：2人	【H30年度実績】 糸芭蕉の生産技術者養成：2人	達成
工芸・ファッション産業宣伝普及事業(H26～H30) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	277百万円 (221百万円)	首都圏にて、本県の工芸品お常設展示・販売場を設置し、製作実演・制作体験等の企画展を実施	【H30年度目標】 来場者数：60,000人 メディア取材(TV、新聞、雑誌等)：10件	【H30年度実績】 来場者数：59,984人 メディア取材：14件	達成
織物検査事業 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	95百万円 (百万円)	県内9箇所に「沖縄県伝統工芸製品検査員」を配置して染織物工芸品の検査を実施	【H30年度目標】 検査員配置数：10人	【H30年度実績】 検査員配置数：10人	達成

(2)工芸産業従事者数
【進展遅れ】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(3)従事者一人当たりの工芸品生産額 【進展遅れ】
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄工芸ふれあい広場事業 (H24~R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	21百万円 (百万円)	伝統工芸品の認知度向上のため、東京銀座にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催	【H30年度目標】 沖縄工芸ふれあい広場の開催:1回	【H30年度実績】 沖縄工芸ふれあい広場の開催:1回	達成	
沖縄工芸ブランド強化事業 (H28~R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	39百万円 (百万円)	三線及び琉球ガラスについて、展示販売会等の普及活動を実施するとともに、国指定伝統的工芸品を目指した調査を実施	【H30年度目標】 国指定工芸品:2件	【H30年度実績】 国指定工芸品:1件	進展遅れ	
工芸製品新ニーズモデル創出事業(H24~R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	57百万円 (百万円)	現代の消費者ニーズに対応した商品開発を行う工芸事業者に対し、マーケティングや試作品開発等の支援を実施	【H30年度目標】 製品開発数:30アイテム	【H30年度実績】 製品開発数:32アイテム	達成	
税制等							
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24~29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況			
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

成果指標						背景・要因の分析																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>文化コンテンツ関連産業事業所数</td> <td>258事業所</td> <td>257事業所(H21)</td> <td>261事業所(H28)</td> <td>目標達成</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>県が支援したビジネスの事業化件数(累計)</td> <td>30件</td> <td>3件(H23)</td> <td>21件(H30)</td> <td>進展</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>観光客の「文化観光」の比率</td> <td>30%</td> <td>10.8%(H24)</td> <td>11.8%(H29)</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>観光客の「娯楽・入場費」の消費単価</td> <td>9,000円</td> <td>7,831円(H22)</td> <td>6,485円(H29)</td> <td>進展遅れ</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	1.	文化コンテンツ関連産業事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)	目標達成	2.	県が支援したビジネスの事業化件数(累計)	30件	3件(H23)	21件(H30)	進展	3.	観光客の「文化観光」の比率	30%	10.8%(H24)	11.8%(H29)	進展遅れ	4.	観光客の「娯楽・入場費」の消費単価	9,000円	7,831円(H22)	6,485円(H29)	進展遅れ	<p>(1)文化コンテンツ関連産業事業所数 【目標達成】</p>				
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																																			
1.	文化コンテンツ関連産業事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)	目標達成																																			
2.	県が支援したビジネスの事業化件数(累計)	30件	3件(H23)	21件(H30)	進展																																			
3.	観光客の「文化観光」の比率	30%	10.8%(H24)	11.8%(H29)	進展遅れ																																			
4.	観光客の「娯楽・入場費」の消費単価	9,000円	7,831円(H22)	6,485円(H29)	進展遅れ																																			
政策ツール						<p>(2)県が支援したビジネスの事業化件数(累計) 【進展】</p>																																		
<p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業・取組(事業年度)</th> <th>事業の種類</th> <th>事業費(うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化資源を活用した新事業の創出(H25~R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>899百万円 (719百万円)</td> <td>文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創造を図るため、県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開を支援する</td> <td>【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%</td> <td>【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業(H24~H29) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>187百万円 (149百万円)</td> <td>投資ファンドによるコンテンツ制作資金の供給及び制作段階に応じたハンズオン支援を行う</td> <td>【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成</td> <td>【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>アーツマネージャー育成事業(H25~H29) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>126百万円 (97百万円)</td> <td>文化芸術に係るマネジメントに関する座学及び県内外の文化関連企業等へのOJT派遣を実施する</td> <td>【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名程度</td> <td>【H29年度実績】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>文化観光戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>767百万円 (613百万円)</td> <td>文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う</td> <td>【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合13.0%</td> <td>【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	文化資源を活用した新事業の創出(H25~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	899百万円 (719百万円)	文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創造を図るため、県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開を支援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成	沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業(H24~H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円 (149百万円)	投資ファンドによるコンテンツ制作資金の供給及び制作段階に応じたハンズオン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成	アーツマネージャー育成事業(H25~H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円 (97百万円)	文化芸術に係るマネジメントに関する座学及び県内外の文化関連企業等へのOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名程度	【H29年度実績】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名	達成	文化観光戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																		
文化資源を活用した新事業の創出(H25~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	899百万円 (719百万円)	文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創造を図るため、県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開を支援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成																																		
沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業(H24~H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円 (149百万円)	投資ファンドによるコンテンツ制作資金の供給及び制作段階に応じたハンズオン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成																																		
アーツマネージャー育成事業(H25~H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円 (97百万円)	文化芸術に係るマネジメントに関する座学及び県内外の文化関連企業等へのOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名程度	【H29年度実績】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名	達成																																		
文化観光戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成																																		

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					(3)観光客の「文化観光」の比率 【進展遅れ】
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					(4)観光客の「娯楽・入場費」の消費 単価 【進展遅れ】
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1.	チャーガンジューおきなわ応援団参加団体数	120団体	57団体(H22)	94団体(H30)	進展	(1)チャーガンジューおきなわ応援団参加団体数 【進展】
2.	朝食欠食率(20歳代男性)	20.0%	29.4%(H18)	31.3%(H28)	進展遅れ	
2.	朝食欠食率(30歳代男性)	20.0%	26.0%(H18)	31.8%(H28)	進展遅れ	(2)朝食欠食率 【進展遅れ】
3.	成人肥満率(男性20～60歳代)	25.0%	42.0%(H15-18)	39.9%(H28)	進展遅れ	
3.	成人肥満率(女性40～60歳代)	25.0%	36.9%(H15-18)	29.8%(H28)	進展	(3)成人肥満率 【男性20～60歳代:進展遅れ】 【女性40～60歳代:進展】
4.	80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合	30.0%	12.9%(H18)	39.7%(H28)	目標達成	
5.	喫煙率(男性)	20%	33.5%(H18)	29.7%(H28)	進展遅れ	(3)成人肥満率 【男性20～60歳代:進展遅れ】 【女性40～60歳代:進展】
5.	喫煙率(女性)	5%	7.7%(H18)	9.2%(H28)	進展遅れ	
6.	20歳～64歳の年齢調整死亡率(全死因)(※参考値 全国比)(男性)	203.7	323.3(1.16倍)(H17)	265.4(1.23倍)(H27)	進展遅れ	(3)成人肥満率 【男性20～60歳代:進展遅れ】 【女性40～60歳代:進展】
6.	20歳～64歳の年齢調整死亡率(全死因)(※参考値 全国比)(女性)	100.8	145.2(1.13倍)(H17)	129.7(1.21倍)(H27)	進展遅れ	
7.	介護認定を受けていない高齢者の割合	82.0%	81.9%(H23年)	82.1%(H30年)	目標達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合 【目標達成】 (5)喫煙率 【進展遅れ】 (6)20歳～64歳の年齢調整死亡率(全死因) 【進展遅れ】
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
県民健康づくり事業(H24～R3)(保健医療部)	県単事業	50百万円	チャーガンジューおきなわ応援団の利活用、健康情報提供、地域に応じた健康課題に沿った広報・啓発等を実施する	【H30年度目標】 チャーガンジューおきなわ応援団参加団体数94団体	【H30年度実績】 チャーガンジューおきなわ応援団参加団体数94団体	達成	
健康増進計画推進事業(H24～R3)(保健医療部)	県単事業	80百万円	健康おきなわ21推進協議会の開催及び市町村健康増進計画策定・推進の支援を実施する	【H30年度目標】 健康増進計画策定市町村数39市町村	【H30年度実績】 健康増進計画策定市町村数38市町村	達成	
みんなのヘルスアクション創出事業(H28～R2)(保健医療部)	県事業 ソフト交付金	326百万円(百万円)	健康意識の向上等を図るイベントを開催するほか、職場の健康づくりに係る実態を調査し、健康経営ハンドブックを制作する	【H30年度目標】 普及啓発の実施 健康経営ハンドブックの改定及び事業所への配布	【H30年度実績】 健康イベント(3回)の実施、TV広報活動等 ハンドブックの改定・配布(2000部)	達成	
食育推進事業(H24～R3)(保健医療部)	県単事業	27百万円	食育イベントの・食育体験学習及び市町村食育推進計画作成支援を実施する	【H30年度目標】 食育推進協議会の開催 食育体験学習の実施	【H30年度実績】 食育推進協議会(1回) 食育体験学習(18小学校、428名)	進展	
健康増進事業等推進事業(H24～R3)(保健医療部)	県、市町村事業 各省計上	330百万円(百万円)	市町村が健康増進事業に要する費用の補助及び支援を実施する	【H30年度目標】 全41市町村における健康診査、健康相談、健康教育、訪問指導等の実施	【H30年度実績】 全41市町村における健康診査、健康相談、健康教育訪問指導等の実施	達成	
職場の健康力アップ支援事業(H26～R元)(保健医療部)	県単事業	13百万円	企業等に対し職場における健康づくり実施に対する助成及び助言、県内企業等の健康づくり実施の普及啓発等の支援を行う	【H30年度目標】 職場における健康づくりの取組に対する支援等(35事業者)	【H30年度実績】 職場における健康づくりの取組に対する支援等(30事業者)	概ね達成	
がん健診等管理事業(H24～R3)(保健医療部)	県単事業	43百万円	がん登録の推進やがん検診受診に関する周知啓発等を行う	【H30年度目標】 がん登録の推進(生存確認調査及び非がん死亡照合件数、登録精度向上)	【H30年度実績】 がん登録の推進(生存確認調査及び非がん死亡照合件数、登録精度向上)	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
親子で歯っぴ〜プロジェクト(H28~R2)(保健医療部)	県単事業	39百万円	乳幼児健診従事者等への研修会研修会を開催し、歯科保健指導マニュアル等の活用を推進する	【H30年度目標】 歯科保健指導従事者研修会 2回	【H30年度実績】 歯科保健指導従事者研修会 2回	達成
タバコ対策促進事業(H24~R3)(保健医療部)	県事業 県単 各省計上	5百万円 (百万円)	禁煙化を図る施設へ認定証を交付し、施設の禁煙化拡大を図る	【H30年度目標】 沖縄県禁煙施設認定推進制度の認定施設数 1,734施設	【H30年度実績】 沖縄県禁煙施設認定推進制度の認定施設数 1,792施設	達成
介護予防市町村支援事業(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 県単	41百万円	市町村へのアドバイザーの派遣や介護予防関連研修等を実施する	【H30年度目標】 介護予防関連研修受講者数580名	【H30年度実績】 介護予防関連研修受講者数535名	達成
生活習慣病予防及び対策のための普及啓発や保健指導等の実施(H24~R30)(複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	84百万円 (67百万円)	生活習慣病予防及び対策のための普及啓発や保健指導等を実施する	健康づくりHPの充実強化、重症化予防プログラム参加者における生活習慣を改善した人の割合等	【H24~H29年度実績】 達成市町村割合 92%	達成

(7)介護認定を受けていない高齢者の割合
【目標達成】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24~29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. スポーツ実施率(成人、週1回以上)	65%	39%(H24)	41.4%(H30)	進展遅れ
2. 国民体育大会総合順位	30位台前半	40位台	43位(H30)	進展遅れ
3. スポーツコンベンションの県内参加者数	102,000人	66,739人(H22)	104,473人(H29)	目標達成
4. 運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.5㎡	6.0㎡(H22)	6.1㎡(H29)	進展遅れ
5. 県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ)	平均稼働率:84% 770,000人	平均稼働率:68% 472,000人(H23)	平均稼働率:73% 647,000人(H30)	進展

背景・要因の分析

(1)スポーツ実施率(成人、週1回以上)
【進展遅れ】

政策ツール

(2)国民体育大会総合順位
【進展遅れ】

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
社会体育活動支援事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	27百万円	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催及び県立学校体育施設開放事業を実施する	【H30年度目標】 スポレク祭参加者数 10,000人	【H30年度実績】 スポレク祭参加者数 10,193人	達成
地域スポーツ活動・健康力向上事業 (H26~R1) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	128百万円 (百万円)	総合型地域スポーツクラブに対する支援強化を実施するとともに、認知度向上を図り、地域住民のスポーツ活動を通じた県民の健康に資する	【H30年度目標】 総合型地域スポーツクラブの認知度 26.5% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 80%	【H30年度実績】 総合型地域スポーツクラブの認知度 18.7% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 83.3%	概ね達成
沖縄県体育協会活動費補助(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会の運営を支援する	【H30年度目標】 県民体育大会参加人数 9,600人	【H30年度実績】 県民体育大会参加人数 9,675人	達成
競技力向上対策事業費 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	373百万	各競技団体の主体性を活かした企画提案型競技力向上対策等の各種対策を行う	【H30年度目標】 国民体育大会強化選手数 846名	【H30年度実績】 国民体育大会強化選手数 846名	達成
スポーツコンベンション誘致事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	40百万円	国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する	【H30年度目標】 歓迎支援件数 45件	【H30年度実績】 歓迎支援件数 45件	達成

(3)スポーツコンベンションの県内参加者数
【目標達成】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり) 【進展遅れ】 (5)県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ) 【進展】
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
スポーツ観光誘客促進事業(H25~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	758百万円 (606百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など、沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う	【H30年度目標】 ・国内観光客数 693万人 ・外国人観光客数 163百万人	【H30年度実績】 ・国内観光客数 700万人 ・外国人観光客数 300万人	達成	
スポーツツーリズム戦略推進事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	618百万円 (494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出及び定着化に向けた補助を行うとともに、沖縄で開催される国際スポーツ大会等への補助を行う	【H30年度目標】 スポーツイベント開催件数 3件	【H30年度】 スポーツイベント開催件数 4件	達成	
スポーツコミッション沖縄体制整備事業(H25~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	274百万円 (219百万円)	沖縄県体育協会に設置した「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動等を実施する	【H30年度目標】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 26件(うち日本18件、日本以外8件)	【H30年度実績】 【H30年度】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 28件	達成	
都市基幹公園等の整備(H24~R3) (土木建築部)	県・市町村 内閣府計上 ハード交付金	13,113百万円 (6,557百万円)	スポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う	【H30年度目標】 整備率 70.9%	【H30年度実績】 整備率 70.5%	達成	
社会体育施設管理運営費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	1,314百万円	指定管理制度を活用し、奥武山総合運動場(公の施設)の適切な整備・充実及び管理・運営を行う	【H30年度目標】 県立社会体育施設の利用者数 695,000人	【H30年度実績】 県立社会体育施設の利用者数 647,000人	概ね達成	
金武町陸上競技場機能高度化事業(H27~H28) (金武町)	市町村事業 (沖縄北部連携 促進特別振興事業費)	546百万円 (436百万円)	近隣市町村と連携し金武町陸上競技場の有効活用を図るため、クラブハウス、夜間照明施設及び駐車スペース等、障害者にも配慮した機能高度化を行う	①JFAキッズフェスティバル:1回/年、②陸上競技講習会:2回/年、③中学校陸上練習:30日/年、④プロ、県外大学、実業団合宿等:18日/年、⑤町民肥満率 男:43.0%、女:36.0%	【H30年度実績】 ①1回、②3回、③39日、 ④37日、⑤男:35.3% 女: 21.2%(健診受診者)	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-ア 母子保健、小児医療対策の充実

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 低体重児出生率(出生百対)	9.5	11.2(H22)	11.1(H29)	進展遅れ
2. 周産期死亡率(出産千対)	3.8	4.1(H22)	3.5(H29)	目標達成

背景・要因の分析

(1)低体重児出生率(出生百対)
【進展遅れ】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
妊婦健康診査支援事業 (H26～R3) (保健医療部)	県・市町村事業 県単	12百万円	市町村における妊婦健診の実施および妊婦住民への検診受診の勧奨支援、妊婦向けパンフレットや保健指導教材等の作成、配布等	【H30年度目標】 妊婦健診公費負担回数 14回	【H30年度実績】 妊婦健診公費負担回数 11.9回(H29年度)	概ね達成
周産期保健医療体制整備事業(H24～R3) (保健医療部)	県事業 県単 各省補助	335百万円 (百万円)	周産期医療関係者研修会及び新生児蘇生法講習会の実施等	【H30年度目標】 研修会の開催数3回 講習会の開催数10回	【H30年度実績】 研修会の開催数3回 講習会の開催数10回	達成
特定不妊治療費助成事業(H24～R3) (保健医療部)	県事業 各省補助	1,456百万円 (百万円)	特定不妊治療費の助成および不妊専門相談センターにおける相談業務等	—	【H30年度実績】 特定不妊治療費助成件数1274件 不妊相談センター相談件数201件	達成
生涯を通じた女性の健康支援事業(H26～R3) (保健医療部)	県事業 各省補助	14百万円 (百万円)	女性健康支援センターによる相談業務等および母子保健支援対象者への研修等の実施	【H30年度目標】 面談相談件数200件 リーフレット配布数1420冊	【H30年度実績】 面談相談件数335件 リーフレット配布数1998冊	達成
乳幼児健康診査の充実(H24～R3) (保健医療部)	県・市町村事業 県単	18百万円	乳幼児健診(1歳6か月、3歳)データの分析等、市町村担当者への研修等の実施	【H30年度目標】 検診受診率(1歳6か月) 90.2% 検診受診率(3歳) 86.2%	【H30年度実績】 検診受診率(1歳6か月) 90.5%(H29年度) 検診受診率(3歳) 87.9%(H29年度)	達成

(2)周産期死亡率(出産千対)
【目標達成】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-ア 母子保健、小児医療対策の充実

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
先天性代謝異常等検査 (H24～R3) (保健医療部)	県事業 県単	378百万円	県内で出生した全ての新生児を対象にした先天性代謝異常等検査(20疾患)の実施	【H30年度目標】 検査実施率100%	【H30年度実績】 検査実施率100%	達成
こども医療費助成 (H24～R3) (保健医療部)	県・市町村事業 県単	8,106百万円	市町村が実施するこども医療費助成事業において、対象経費の2分の1を補助	【H30年度目標】 こども医療費助成の実施 入院: 中学3年まで 通院: 就学前まで	【H30年度実績】 こども医療費助成件数 1,722,259件	達成
在宅療養を支える環境づくり(H24～R3) (保健医療部)	県・市町村・ 医療機関事業 県単	29百万円	在宅療養する難病児に対する人工呼吸器用バッテリーや自家発電機の貸与	【H30年度目標】 在宅人工呼吸法児の災害時の電源確保等 5人	【H30年度実績】 在宅人工呼吸法児の災害時の電源確保等 13人	達成
子どもの心の診療ネットワーク事業(H27～R3) (保健医療部)	県事業 各省補助	22百万円 (百万円)	拠点病院を中心とした各医療機関や保健福祉機関等と連携した支援体制の構築	【H30年度目標】 県立病院と連携できている圏域数 5圏域	【H30年度実績】 県立病院と連携できている圏域数 4圏域	概ね達成
小児救急電話相談事業 (#8000)(H24～R3) (保健医療部)	県事業 県単	99百万円	子どもの急な病気症状や対応法への助言が得られる電話相談窓口「#8000」を実施	【H30年度目標】 小児救急電話相談件数 8,000件	【H30年度実績】 小児救急電話相談件数 13,153件	達成

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-イ 地域における子育て支援の充実

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 保育所入所待機児童数(顕在・潜在)	0人	9,000人(H23)	3,459人(H30)	進展
2. 公的施設等放課後児童クラブ新規設置数	10か所/年	11か所(24年)	12か所(H30)	目標達成
3. 放課後児童クラブ平均月額利用料	9,000円未満	11,000円(H22)	9,169円(H30)	達成見込
4. 放課後児童クラブ登録児童数	21,000人以上	10,804人(H23)	19,324人(H30)	達成見込
5. 預かり保育実施率(公立幼稚園)	80.0%	62.1%(H22)	85.3%(H30)	目標達成

(1)保育所入所待機児童数(顕在・潜在)
【進展】

(2)公的施設等放課後児童クラブ新規設置数
【目標達成】

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
放課後児童クラブへの支援(H24~R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	14,101百万円 (7,429百万円)	放課後児童クラブに対し、公的施設活用の促進や運営費等を支援することで、クラブの環境改善、保護者の負担軽減を図る	【H30年度目標】 ・就業しやすい環境に寄与したと感じた保護者の割合 80% ・安心して児童を預けられる環境に寄与したと感じた保護者の割合 80%	【H30年度実績】 ・就業しやすい環境に寄与したと感じた保護者の割合 95.6% ・安心して児童を預けられる環境に寄与したと感じた保護者の割合 94.1%	達成
待機児童解消のための支援(H24~R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金 各省補助等	50,756百万円 (45,957百万円)	待機児童の解消に向けて、保育所等の整備や認可外保育施設の認可化促進、保育士確保など総合的な取組を推進する	【H30年度目標】 ・認可化促進等による待機児童減少数 1,250人 ・保育士加配による0歳児待機児童受入可能数 72人 ・指導監督基準達成施設数 198施設 ・認可外施設のうち、支援を受けた施設の割合 85%	【H30年度実績】 ・認可化促進等による待機児童減少数 554人 ・保育士加配による0歳児待機児童受入可能数 33人 ・指導監督基準達成施設数 158施設 ・認可外施設のうち、支援を受けた施設の割合 78%	進展
多様な子育て支援体制確保のための支援(H27~R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	13,044百万円	市町村が実施する一時預かり事業、延長保育・夜間保育・休日保育、病児・病後児保育、家庭的保育等の事業に対し補助する	【H30年度目標】 延長保育実施施設数459件 病児保育実施施設数 24件 地域子育て支援拠点事業実施施設数 102件	【H30年度実績】 延長保育実施施設数573件 病児保育実施施設数 22件 地域子育て支援拠点事業実施施設数 93件	概ね達成

(3)放課後児童クラブ平均月額利用料
【達成見込】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-イ 地域における子育て支援の充実

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
魅力ある私立学校づくり 推進事業補助金等(H24 ～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省補助	432百万円 (216百万円)	私立幼稚園が行う預かり 保育や保護者向け講演会 等の実施に要する経費に 対して補助を行う	【H30年度目標】 助成私立幼稚園数 29園	【H30年度目標】 助成私立幼稚園数 24園	概ね達成
ワーク・ライフ・バランス 推進事業(H23～)	県単事業	65百万円	ワーク・ライフ・バランスの普及啓 発セミナーの開催、HP・広 報誌等による情報発信、実 践的に取り組む企業への 専門家派遣を実施する	【H30年度目標】 アドバイザー派遣企業数 10社 セミナー開催数 1回	(H30年度実績) アドバイザー派遣企業数 26社 セミナー開催数 6回 (参加者:延べ53人)	達成
認可外保育園の施設整 備・改修に対する支援 (H25～H29) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	58百万円 (40百万円)	認可外保育施設が行う施 設整備や改修に対して支 援を行う	認可外保育園の整備及び改 修実施数	【H24～H29年度実績】 達成市町村割合 75%	概ね達成
放課後児童クラブへの 家賃支援(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	77百万円 (40百万円)	学童クラブの経営安定化を 図るため、民間施設等で運 営を行っている学童クラブ に対して支援を行う	家賃補助学童クラブ数	【H24～H29年度実績】 達成市町村割合 100%	達成
幼稚園預かり保育の実 施(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	969百万円 (443百万円)	幼稚園の教育課程修了後 の預かり保育を実施	預かり保育園児の受入数、 預かり保育の保護者満足度 等	【H24～H29年度実績】 達成市町村割合 91%	達成

(4)放課後児童クラブ登録児童数
【達成見込】

(5)預かり保育実施率
【目標達成】

税制等

軽減措置の名称	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値	達成状況
—	—	—	—	—

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
第84条の 4 子育ての支援等	市町村	・施設数は平成24年度393施設から平成30年度741施設に増加(348施設増) ・保育定員数は平成24年度33,517人から平成30年度56,123人に増加(22,606人増)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-ウ子ども・若者の育成支援

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 若年無業者率(15～34歳人口に占める割合)	1.50%	1.91%(H17)	1.95%(H27)	進展
2. 登校復帰率	(小) 35.0%	(小) 28.3%(H24)	(小) 20.7%(H29)	(小) 進展遅れ
	(中) 40.0%	(中) 27.8%(H24)	(中) 36.3%(H29)	(中) 進展
	(高) 40.0%	(高) 33.0%(H24)	(高) 39.8%(H29)	(高) 達成見込
3. 刑法犯少年の検挙・補導人員	971人以下	1,106人以下	799人(H30)	目標達成

背景・要因の分析

(1)若年無業者率(15～34歳人口に占める割合)
【進展】

(2)登校復帰率
【(小)進展遅れ】
【(中)進展】
【(高)達成見込】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
青少年交流体験事業(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	52百万円	県内の青少年を他県に派遣し、交歓交流・学習の機会を設けること等により、青少年の健全育成を図る	【H30年度目標】 青少年交流体験事業派遣児童数 252人	【H30年度実績】 青少年交流体験事業派遣児童数 269人	達成
放課後や週末等の児童生徒の安全・安心な活動拠点支援(H24～R3) (教育庁)	県事業 各省補助	204百万円 (102百万円)	小中学校等の余裕教室を活用し放課後子ども教室推進事業を実施する市町村に対し補助するほか、推進委員会を設置し、指導者等の研修会を実施	【H30年度目標】 ・放課後子ども教室実施市町村数への支援 ・参加した大人の延べ数 40,000人	【H30年度目標】 ・放課後子ども教室の実施 23市町村(214教室) うち支援市町村数 21市町村(148教室) ・参加した大人の延べ人数 53,424人	達成
地域学校協働活動推進事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業)(H24～R3) (教育庁)	県事業 各省補助	268百万円 (133百万円)	地域住民等が参画した地域学校協働本部を設置し、学習支援など様々な活動を実施することで、地域の教育力の向上を図る	【H30年度目標】 ボランティア参加延べ数 235千人	【H30年度目標】 ボランティア参加延べ数 219千人	概ね達成
若年無業者職業基礎訓練事業(H24～) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	205百万円 (164百万円)	若年無業者(ニート)に対し職業的自立を促すため基礎的な職業訓練等を実施	【H30年度目標】 訓練受講者(68名)のうち、若年無業者状態からの改善:90%	【H30年度実績】 訓練受講者の内(67名)、若年無業者状態からの改善:85.1%	概ね達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-ウ子ども・若者の育成支援

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(3)刑法犯少年の検挙・補導人員 【目標達成】
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
子ども・若者育成支援事業(H26～) (子ども生活福祉部)	県単事業	261百万円	困難を有する子ども・若者に対する支援を行うため、子ども・若者支援地域協議会を開催するとともに、子ども・若者総合相談センター運営を支援する	【H30年度目標】 ・子ども・若者支援地域協議会の開催 2回 ・センターの運営支援	【H30年度実績】 ・子ども・若者支援地域協議会の開催 2回 ・センターの相談件数 1,327名、5,588件(累計)	達成	
教育相談・就学支援員配置事業(県立高校)(H24～R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	133百万円 (106百万円)	不登校生徒の登校復帰を促すため、支援を必要とする県立高校に就学支援員を派遣し、校外における支援体制等を構築する	【H30年度目標】 ・就学支援員配置校数 15校	(H30年度実績) ・就学支援員配置校数 17校	達成	
スクールカウンセラーの配置(小中学校)H24～R3) (教育庁)	県事業 各省補助	178百万円 (58百万円)	スクールカウンセラー等を学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員の相談にあたり、学校における教育相談体制の充実を図る	【H30年度目標】 SC配置校数 小中学校 345校	【H30年度実績】 SC配置校数 小中学校 345校	達成	
スクールカウンセラーの配置(県立学校)(H24～R3)(教育庁)	県事業 各省補助	146百万円 (百万円)		【H30年度目標】 SC配置校数 県立学校 50校	【H30年度実績】 SC配置校数 県立学校 52校	達成	
小・中学生いきいき支援事業(H24～R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	81百万円 (65百万円)	小中アシスト相談員を教育事務所に配置し、不登校や問題行動等の課題を抱える学校に派遣する	【H30年度目標】 登校復帰率 小学校 33.2% 中学校 38.6%	【H30年度実績】 登校復帰率 小学校 24.2% 中学校 37.3%	進展	
青少年健全育成事業(H24～R3) (県警本部)	県単事業	117百万円	非行防止教室の開催、スクールサポーターの活用、少年警察ボランティア等と連携し非行少年の立ち直り支援や健全育成活動を推進	【H30年度目標】 非行防止教室の開催 非行少年の検挙・補導活動 少年の立ち直り支援活動	【H30年度実績】 ・非行防止教室参加者数 687校、206団体、289,846人 ・非行少年検挙・補導活動 799人 ・少年の立ち直り支援活動 1,153回	達成	
青少年等支援事業(H24～H29) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	132百万円 (105百万円)	青少年教育相談員を配置し、訪問相談、巡回指導を行うとともに、青少年指導員による夜間街頭指導を行う。また、困難を有する若者や家族を支援する。	【H29年度目標】 午前・午後の巡回指導200回 夜間の巡回指導 250回 青少年教育相談指導員への研修 年10回	【H29年度実績】 午前・午後の巡回指導384回 夜間の巡回指導 263回 青少年教育相談指導員への研修 年10回	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-ウ子ども・若者の育成支援

政策ツール			背景・要因の分析									
<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">努力義務・配慮義務・特例措置</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">沖振法条文番号・見出し</th> <th style="width: 15%;">実施主体</th> <th style="width: 75%;">成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)										

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-エ 要保護児童やひとり親家庭等への支援

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 要保護児童対策地域協議会の設置市町村数(割合)	41市町村(100%)	37市町村(90.2%) (H24)	41市町村(100%)	目標達成
2. 就業相談から就職に結びついたひとり親家庭の数(累計)	800世帯	84世帯(H23)	740世帯(H30)	達成見込

背景・要因の分析

(1)要保護児童対策地域協議会の設置市町村数(割合)
【目標達成】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
児童虐待防止対策事業 (H13～) (子ども生活福祉部)	県事業 各省補助	390百万円 (153百万円)	市町村要保護児童対策地域協議会の活動促進、児童相談所の体制強化、関係機関の連携強化、県民への啓発を促進し、社会的養護体制の充実を図る	【H30年度目標】 ・児童虐待防止に係る普及啓発イベントの開催 ・地域協議会職員向け研修の実施	【H30年度実績】 ・児童虐待防止講演会や市町村ワークショップ参加者 約850人 ・研修参加者 37市町村88名	達成
被虐待児等地域療育支援体制構築モデル事業 (H25～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	180万円 (144百万円)	児童養護施設等を地域の支援拠点と位置づけ、専門の心理療法士及びコーディネーターを配置し、養育に困っている里親等へのきめ細かな支援を実施	【H30年度目標】 ・特別なケアが必要な児童の支援数 50人 ・特別なケアが必要な児童の「養育の返上を考える」里親の割合 30%以下	【H30年度実績】 ・特別なケアが必要な児童の支援数 63人 ・特別なケアが必要な児童の「養育の返上を考える」里親の割合 19%	達成
母子家庭等医療費助成事業(H6～) (子ども生活福祉部)	県単事業	2,061百万円	ひとり親家庭等の保護者及び児童への医療費を助成することにより、生活の安定と自立を支援する	【H30年度目標】 ひとり親家庭の保護者および児童への医療費助成	【H30年度実績】 41市町村に対し、助成経費の1/2を補助	達成
母子家庭等自立促進事業(H16～) (子ども生活福祉部)	県事業 各省補助	483百万円 (259百万円)	就労支援講習会、就業相談及び就業紹介等の実施、給付金支給、生活支援ヘルパー派遣等、ひとり親家庭等の自立支援を行う	【H30年度目標】 就業相談件数 280件	【H30年度実績】 就業相談件数 171件	進展
ひとり親家庭生活支援モデル事業(H24～R3)(子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	606百万円 (485百万円)	ひとり親家庭が地域で自立した生活が送れるよう、生活・就労支援、子育て支援、子どもへの学習支援など総合的支援を行う	【H30年度目標】 ・支援世帯数 60世帯 ・支援期間満了世帯のうち自立した世帯の割合100%	【H30年度実績】 ・支援世帯数 85世帯 ・支援期間満了世帯のうち自立した世帯の割合100%	達成

(2)就業相談から就職に結びついたひとり親家庭の数(累計)
【達成見込】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-エ 要保護児童やひとり親家庭等への支援

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
緊急委託訓練事業(母子家庭の母等コース) (H14～) (商工労働部)	県事業 各省補助	32百万円 (32百万円)	就職を希望する母子家庭の母等のうち、職業能力の開発を必要とする者に対して民間教育訓練機関を活用した職業訓練により、早期就職を支援する	【H30年度目標】 緊急委託訓練修了者の就職率 75%	【H30年度実績】 緊急委託訓練修了者の就職率 77.8%	達成	
ひとり親家庭技能習得支援事業(H25～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	111百万円 (88百万円)	ひとり親家庭の親に対して技能習得(日商簿記、電子会計実務検定)の支援を行うとともに、受講中における子の一時預かり等の子育て支援を行う	【H30年度目標】 ・技能検定合格率 60%	【H30年度実績】 ・技能検定合格率 簿記 72% 電子会計実務検定 78%	達成	
ひとり親家庭等認可外保育施設利用料補助事業(H27～R1) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	262百万円 (233百万円)	ひとり親家庭等の利用料を減免した認可外保育施設に対して利用料減免相当額を補助する	【H30年度目標】 ・事業実施市町村数 — ・支援実施児童数 —	【H30年度実績】 ・事業実施市町村数 21市町村 ・支援実施児童数 394人	達成	
ひとり親家庭高校生等通学サポート実証事業(H30～R1) (子ども生活福祉部)	県単事業	31百万円	ひとり親家庭の高校生等のバス通学費の負担を軽減するとともに、事業効果の検証を行う	【H30年度目標】 ・バス通学費の負担軽減 ・事業効果検証	【H30年度実績】 ・通学費支援生徒数 655人 ・ひとり親家庭の生活の安定と子どもの教育環境の充実に一定程度寄与した	達成	
ひとり親家庭の生活・自立支援(H28～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	49百万円 (38百万円)	支援が必要なひとり親家庭でも自立する意欲のある家庭に対し、就労支援や住宅支援等の生活支援を行う。	・支援対象者のうち自立につながった割合 ・支援した一人親家庭世帯数等	【H28～H29年度実績】 達成市町村の割合100%	達成	

努力義務・配慮義務・特例措置		
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
—	—	—

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-オ 子どもの貧困対策の推進

成果指標					背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1. 困窮世帯の割合(沖縄県子ども調査)(小中学生調査)	20%	29.9%(H27)	25.0%(H30)	進展遅れ	(1)困窮世帯の割合(沖縄県子ども調査)(小中学生調査) 【進展遅れ】
2. 困窮世帯の割合(沖縄県子ども調査)(高校生調査)	20%	29.3%(H28)	29.3%(H28)	—	
3. 乳幼児健康診査の受診率(乳児)	95.0%	87.6%(H23)	90.7%(H29)	進展	(2)困窮世帯の割合(沖縄県子ども調査)(高校生調査) 【—】
4. 保育所入所待機児童数(顕在・潜在)	0人(維持)	9,000人(H23)	3,459人(H30)	進展	
5. 養育支援訪問事業の実施市町村数	31市町村	12市町村(H23)	26市町村(H30)	達成見込	
6. 登校復帰率	(小) 35.0% (中) 40.0% (高) 40.0%	(小) 28.3%(H24) (中) 27.8%(H24) (高) 33.0%(H24)	(小) 20.7%(H29) (中) 36.3%(H29) (高) 39.8%(H29)	(小) 進展遅れ (中) 進展 (高) 達成見込	(3)乳幼児健康診査の受診率(乳児) 【進展】
7. 高等学校中途退学率	1.4%	1.9%(H23)	2.0%(H29)	進展遅れ	
8. 地域等における子どもの学習支援実施市町村(無料塾等)	41市町村	4市町村(H23)	40市町村(H29)	達成見込	
9. 若年無業者率(15~34歳人口に占める割合)	1.50%	1.91%(H17)	1.95%(H27)	進展	
10. 就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数(累計)	800世帯	84世帯(H23)	740世帯(H30)	達成見込	
11. 正規雇用者(役員を除く)の割合	62.5%	59.6%(H25)	61.4%(H30)	進展	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-オ 子どもの貧困対策の推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄子供の貧困緊急対策事業 (H28～R3) (子ども生活福祉部)	県、市町村事業 内閣府補助	2,692百万円 (2,680百万円)	各市町村に子供の貧困対策支援員の配置や子供の居場所の設置を行うとともに、支援員及び居場所運営者等への相談・助言等を行うコーディネーターの配置や研修の実施等、広域的な支援を実施する	子供の貧困対策支援員の配置の促進、子供の居場所づくりの促進、支援員に対する研修の実施	【H30年度実績】 ・支援員の配置人数 117人 ・居場所の設置数 144件 ・支援員研修の実施 5回	達成
市町村児童相談体制強化事業 (H29～R1) (子ども生活福祉部)	県単事業	3百万円	市町村が実施する各種訪問支援事業の訪問員等を対象とした研修を実施し、家庭の支援体制を強化する	【H30年度目標】 ・養育支援訪問事業実施に係る助言・指導 25市町村 ・家庭訪問支援者に対する研修等の実施 2回(4日間)	【H30年度実績】 ・養育支援訪問事業実施に係る助言・指導 26市町村 ・家庭訪問支援者に対する研修等の実施 3回(4日間)	達成
民生委員・児童委員活動の推進 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県、市町村事業 県単事業	610百万円	民生委員に対する研修の実施や制度・活動に対する広報活動など、民生委員が活動しやすい環境の整備に取り組む	【H30年度目標】 ・民生委員の年間活動日数 202,250人日	【H30年度実績】 ・民生委員の年間活動日数 184,628人日	概ね達成
子ども・若者育成支援地域ネットワーク形成支援事業 (H29～) (子ども生活福祉部)	県単事業	31百万円	困難を抱える子ども・若者の支援活動を行う民間団体へ助成するほか、各支援機関の役割等について相互理解を深め、支援ネットワーク構築を図る	【H30年度目標】 ・助成団体数 7回 ・体験型研修の実施	【H30年度実績】 ・助成団体数 6回 ・研修参加者 295人	達成

(4)保育所入所待機児童数(顕在・潜在)
【進展】

(5)養育支援訪問事業の実施市町村数
【達成見込】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-オ 子どもの貧困対策の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(6)登校復帰率 【(小)進展遅れ】 【(中)進展】 【(高)達成見込】</p> <p>(7)高等学校中途退学率 【進展遅れ】</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
私立幼稚園就園奨励費 (H24～R1) (教育庁)	各省補助	449百万円 (449百万円)	公・私立幼稚園間における保護者負担の格差是正を図るため、入園料、保育料を軽減する市町村に対し、国が補助を行う	【H30年度目標】 ・就園奨励事業の実施市町村に対する支援の実施	【H30年度実績】 市町村による幼稚園就園奨励費の受給者数 1,669人	達成	
待機児童解消のための支援(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金 各省補助等	50,756百万円 (45,957百万円)	待機児童の解消に向けて、保育所等の整備や認可外保育施設の認可化促進、保育士確保など総合的な取組を推進する	【H30年度目標】 ・認可化促進等による待機児童減少数 1,250人 ・保育士加配による0歳児待機児童受入可能数 24人 ・指導監督基準達成施設数 198施設 ・認可外施設のうち、支援を受けた施設の割合 85%	【H30年度実績】 ・認可化促進等による待機児童減少数 554人 ・保育士加配による0歳児待機児童受入可能数 33人 ・指導監督基準達成施設数 158施設 ・認可外施設のうち、支援を受けた施設の割合 78%	進展	
延長保育事業 (H27～R1) (子ども生活福祉部)	県単事業	750百万円	地域のニーズに応じ、延長保育事業を実施する市町村を支援することにより、子育て支援の充実を図る	【H30年度目標】 ・延長保育事業への支援 459件	【H30年度実績】 ・延長保育事業への支援 573件	達成	
教育相談・就学支援員配置事業(県立高校) (H24～R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	133百万円 (106百万円)	不登校生徒の登校復帰を促すため、支援を必要とする県立高校に就学支援員を派遣し、校内外における支援体制等を構築する	【H30年度目標】 ・就学支援員配置校数 15校	(H30年度実績) ・就学支援員配置校数 17校	達成	
スクールカウンセラーの配置(県立学校) (H24～R3)(教育庁)	県事業 各省補助	146百万円 (百万円)	スクールカウンセラー等を学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員の相談にあたり、学校における教育相談体制の充実を図る	【H30年度目標】 SC配置校数 県立学校 50校	【H30年度実績】 SC配置校数 県立学校 52校	達成	
こども医療費助成 (H24～R3) (保健医療部)	県単事業	7,194百万円	市町村が実施するこども医療費助成事業に対し、対象経費の2分の1を補助する	【H30年度目標】 こども医療費助成の実施 入院:中学3年まで 通院:就学前まで	【H30年度実績】 助成件数 1,722,259件	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-オ 子どもの貧困対策の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(8)地域等における子どもの学習支援(無料塾等) 【達成見込】 (9)若年無業者率(15~34歳人口に占める割合) 【進展】
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
地域住民等の協力による学習支援(地域未来塾)(H27~R3) (教育庁)	県事業 各省補助	166百万円 (82百万円)	経済的理由等で家庭学習が困難である児童生徒に対し、地域住民等の協力を得て、学習支援(地域未来塾)を行う市町村の取組を支援する	【H30年度目標】 学習支援(地域未来塾)を実施した市町村数 6市	【H30年度実績】 学習支援(地域未来塾)を実施した市町村数11市町村	達成	
沖縄県子育て総合支援モデル事業 (H24~R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	978百万円 (782百万円)	準要保護世帯等の小中学生及び児童扶養手当受給世帯等の高校生を対象とした学習支援を実施する	【H30年度目標】 ・学校以外で勉強する時間(当該事業による時間を含む1日あたり)が増加した児童生徒の割合 60% ・支援対象児童の生徒の大学等進学率 60%	【H30年度実績】 ・学校以外で勉強する時間(当該事業による時間を含む1日あたり)が増加した児童生徒の割合 66.7% ・支援対象児童の生徒の大学等進学率 86.7%	達成	
子どもの学習支援事業(生活困窮者自立支援事業(任意)) (H24~) (子ども生活福祉部)	県事業 各省補助	190百万円 (100百万円)	生活保護世帯及び生活困窮世帯を対象として、子どもの学習支援や進路相談、親への養育支援等を行う	【H30年度目標】 生活保護世帯及び生活困窮世帯の支援児童数 80人	【H30年度実績】 生活保護世帯及び生活困窮世帯の支援児童数 99人	達成	
要保護・準要保護児童生徒就学援助事業(H24~R3) (教育庁)	市町村事業	— (—)	生活保護法に規定する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している準要保護者に対して学用品費等の費用を補助するなどの就学援助を行う	【H30年度目標】 要保護・準要保護児童生徒を対象とした学用品費等の支援	【H29年度実績】 要保護・準要保護児童生徒を対象とした学用品費等の支援 34,134人	達成	
放課後児童クラブ支援事業(H24~R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	14,101百万円 (7,429百万円)	放課後児童クラブに対し、公的施設活用の促進や運営費を支援することで、クラブの環境改善、保護者の負担軽減等を図る	【H30年度目標】 ・公的施設活用クラブ新規設置数 10施設	【H30年度実績】 ・公的施設活用クラブ新規設置数 12施設	達成	
沖縄県子どもの貧困対策推進基金事業(市町村支援事業) (H28~R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	1,183百万円	子どもの貧困対策を着実に効果的に推進するため、沖縄県子どもの貧困対策推進基金条例に基づき、市町村が実施する事業に対する費用の支援を行う	【H30年度目標】 子どもの貧困対策に係る市町村事業の支援の実施	【H30年度実績】 子どもの貧困対策に係る市町村支援件数 34市町村	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(2) 子育てセーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(2)-オ 子どもの貧困対策の推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
高等学校等奨学のための給付金事業 (H26～R3) (教育庁)	県事業 各省補助	4,822百万円 (1,563百万円)	授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる低所得世帯を対象に奨学のための給付金を支給する	【H30年度目標】 低所得世帯の高校生等を対象とした授業料以外の教育費の支援	【H30年度実績】 低所得世帯の高校生等を対象とした授業料以外の教育費の支援 12,527人	達成
若年無業者職業基礎訓練事業 (H24～) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	205百万円 (164百万円)	若年無業者(ニート)に対し職業的自立を促すため基礎的な職業訓練等を実施	【H30年度目標】 訓練受講者(68名)のうち、若年無業者状態からの改善:90%	【H30年度実績】 訓練受講者の内(67名)、若年無業者状態からの改善:85.1%	概ね達成
緊急委託訓練事業(母子家庭の母等コース) (H14～) (商工労働部)	県事業 各省補助	32百万円 (32百万円)	就職を希望する母子家庭の母等のうち、職業能力の開発を必要とする者に対して民間教育訓練機関を活用した職業訓練により、早期就職を支援する	【H30年度目標】 緊急委託訓練修了者の就職率 75%	【H30年度実績】 緊急委託訓練修了者の就職率 77.8%	達成
ひとり親家庭生活支援モデル事業(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ソフト交付金	606百万円 (485百万円)	ひとり親家庭が地域で自立した生活が送れるよう、生活・就労支援、子育て支援、子どもへの学習支援など総合的支援を行う	【H30年度目標】 ・支援世帯数 60世帯 ・支援期間満了世帯のうち自立した世帯の割合100%	【H30年度実績】 ・支援世帯数 85世帯 ・支援期間満了世帯のうち自立した世帯の割合100%	達成
子育て世帯・中高年齢者就職総合支援事業 (H30～R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	32百万円 (26百万円)	ひとり親世帯や中高年齢者を対象に個々の職業経験及び能力、生活の状況や働き方の希望等に応じた研修と職場訓練を実施	【H30年度目標】 ・事前研修受講者数 50人 ・本事業による就職率85%	【H30年度実績】 ・事前研修受講者数 65人 ・本事業による就職率72%	達成
正規雇用化企業応援事業 (H27～R1) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	21百万円 (17百万円)	非正規従業員の正規雇用化を図るため、県内企業に対し、従業員研修に係る費用(旅費及び宿泊費)の一部を助成する	【H30年度目標】 ・本事業により正規雇用化された従業員数 55人	【H30年度実績】 ・本事業により正規雇用化された従業員数 57人	達成

(10)就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数(累計)
【達成見込】

(11)正規雇用者(役員を除く)の割合
【進展】

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
第84条の4 子育ての支援等	市町村	<ul style="list-style-type: none"> 施設数は平成24年度393施設から平成30年度741施設に増加(348施設増) 保育定員数は平成24年度33,517人から平成30年度56,123人に増加(22,606人増)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)介護支援専門員養成数 【達成見込】 (2)介護老人福祉施設(地域密着型を含む)及び認知症高齢者グループホーム定員数 【進展】
1.	介護支援専門員養成数	7,000人	4,735人(H23)	6,434人(H30)	達成見込	
2.	介護老人福祉施設(地域密着型を含む)及び認知症高齢者グループホーム定員数	6,491人	4,929人(H23)	5,969人(H30)	進展	
3.	介護認定を受けていない高齢者の割合	82.0%	81.9%(H23)	82.1%(H30)	目標達成	
4.	認知症サポーター養成数	108,000人	19,833人(H23)	90,042人(H30)	達成見込	
5.	高齢者のいる世帯の一定のバリアフリー化率	47.1%	26.5%(H20)	29.1%(H25)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
介護支援専門員資質向上事業(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	200百万円 (133百万円)	介護保険サービス利用者の適切なケアマネジメントのため、介護支援専門員の実務研修等を実施する	【H30年度目標】 介護支援専門員実務研修受講者数 180人	【H30年度実績】 介護支援専門員実務研修受講者数 72人	進展遅れ
老人福祉施設等整備(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 県単 各省計上	4,639百万円 (1,932百万円)	居宅生活が困難な高齢者のため、介護老人福祉施設等の整備充実を図る	【H30年度目標】 新築・改築支援施設数 5施設	【H30年度実績】 新築・改築支援施設数 2施設	進展遅れ
介護予防市町村支援事業(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 県単	41百万円	市町村へのアドバイザーの派遣や介護予防関連研修等を実施する	【H30年度目標】 介護予防関連研修受講者数 580名	【H30年度実績】 介護予防関連研修受講者数 535名	達成
在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業(H28~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 県単	25百万円	高齢者が住み慣れた地域で人生を最期まで続けられるよう、地域包括ケアシステムの体制整備を支援する	【H30年度目標】 在宅医療・介護連携相談支援センターの設置数 7施設	【H30年度実績】 在宅医療・介護連携相談支援センターの設置数 7施設	達成
介護サービス事業者指導・支援事業(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 県単 各省計上	235百万円 (39百万円)	地域で支えあう体制を再構築するため、認知症介護に関する知識、技術の修得を支援する	【H30年度目標】 認知症介護実践者研修受講者数 150人	【H30年度実績】 認知症介護実践者研修受講者数 253人	達成
認知症対策の取組強化(H24~R3)(子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	25百万円 (12百万円)	認知症に対する適切な医療介護の提供等のため、認知症疾患医療センターの設置等を行う	【H30年度目標】 ・認知症疾患医療センターの設置数 7施設	【H30年度実績】 ・認知症疾患医療センターの設置数 6施設	概ね達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
公営住宅整備事業(高齢者施設併設公営住宅整備)(H24～R3) (土木建築部)	県、市町村事業 ハード交付金	21,376百万円 (13,840百万円)	高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるよう、高齢者施設を併設した公営住宅を整備する	【H30年度目標】 ・高齢者施設を併設した公営住宅の整備 ・市町村への助言 2回/年	【H30年度実績】 ・高齢者施設を併設した公営住宅の整備 ・市町村への助言 2回/年	進展遅れ
住宅リフォーム市町村助成支援事業(H25～R2) (土木建築部)	県単事業、市町村事業 各省計上	171百万円 (112百万円)	高齢者世帯等の住宅のバリアフリー化に向け、既存住宅等のリフォームに対し助成する	【H30年度目標】 支援戸数(バリアフリー改修工事等を含む住宅リフォーム工事への助成) 600件	【H30年度実績】 支援戸数(バリアフリー改修工事等を含む住宅リフォーム工事への助成) 442件	進展遅れ
高齢者雇用対策事業費 (商工労働部)	県事業	16百万円 (百万円)	県シルバー人材センター連合及び新設シルバー人材センターの高年齢者就業機会確保事業の推進に要する経費の一部を補助する	会員数:5,766人	会員数:5,563人	達成
高齢者福祉施設の機能強化(H24～H29) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	405百万円 (317百万円)	高齢者福祉施設の需要増加による受入に対応するため、高齢者福祉施設を機能強化する	高齢者福祉施設機能強化整備の完了	【H24～H29年度実績】達成 市町村の割合100%	達成

(3)介護認定を受けていない高齢者の割合
【目標達成】

(4)認知症サポーター養成数
【達成見込】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
—				

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
—		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり

政策ツール					背景・要因の分析															
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">税制等</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #4CAF50; color: white;">軽減措置の名称(対象年度)</th> <th style="background-color: #4CAF50; color: white;">適用数量・金額 (24～29年度)</th> <th style="background-color: #4CAF50; color: white;">目標値(33年度)</th> <th style="background-color: #4CAF50; color: white;">実績値(29年度)</th> <th style="background-color: #4CAF50; color: white;">達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況											(5)高齢者のいる世帯の一定のバリアフリー化率 【進展遅れ】
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況																
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">努力義務・配慮義務・特例措置</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #8B4513; color: white;">沖振法条文番号・見出し</th> <th style="background-color: #8B4513; color: white;">実施主体</th> <th style="background-color: #8B4513; color: white;">成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)													
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																		

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-イ 障害のある人が活動できる環境づくり

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)障害者実雇用率 【目標達成】 (5)福祉施設から地域生活への移行者数 【達成見込】 (6)障害者就労系サービス事業所の平均工賃月額 【進展】
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
精神障害者地域移行・地域定着促進基金事業 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	22百万円	精神障害者の地域移行・地域定着を促進するため、コーディネーターの配置、院内委員会への地域援助事業者の参画を支援する	【H30年度目標】 ・コーディネーターの配置 5圏域 ・院内委員会への補助 3医療機関	【H30年度実績】 ・コーディネーターの配置 4圏域 ・院内委員会への補助 4医療機関	達成	
障害児等療育支援事業 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	206百万円	在宅の障害児(者)を地域で支えるため、身近な地域で療育指導等が受けられる療育機能の充実を図る	【H30年度目標】 支援事業実施箇所数(累計) 10箇所	【H30年度実績】 支援事業実施箇所数 11箇所	達成	
障害者工賃向上支援事業 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	9百万円 (7百万円)	障害者の自立した生活を支援するため、障害者就労等サービス事業所利用者の工賃水準の向上を図る	【H30年度目標】 ・アドバイザー派遣事業所数 6箇所 ・研修会参加事業所数 34箇所	【H30年度実績】 ・アドバイザー派遣事業所数 9箇所 ・研修会参加事業所数 169箇所	達成	
障害者スポーツの推進 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県単事業	279百万	障害者の自立・社会参加の促進、県民の障害者への理解を深めるため、障害者スポーツ大会への派遣、参加人口の拡大等を推進する	【H30年度目標】 全国大会派遣人数 80人	【H30年度実績】 全国大会派遣人数 105人	達成	
地域生活支援事業(専門・広域的事業)(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	165百万円 (82百万円)	障害者等の自立した日常生活又は社会生活のため、手話通訳者の養成等を行う。	【H30年度目標】 手話通訳者設置数 1人	【H30年度実績】 手話通訳者設置数 1人	達成	
障がい者の就労支援 (H25～H29) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	57百万円 (46百万円)	障害のある方が従事する施設で製造する商品等の販売所設置や商品開発支援、障がい者就労支援施設の整備に向けた支援サービスの検討	新商品開発件数、障がい者活動支援員の配置等	【H25～H29年度実績】 達成市町村の割合100%	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-イ 障害のある人が活動できる環境づくり

成果指標					背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1. 「軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業」実施市町村数	28市町村	—	24市町村(H30)	達成見込	(1)「軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業」実施市町村数 【達成見込】
2. グループホーム等数(障害福祉サービス)	350箇所	157箇所(H23)	305箇所(H30)	達成見込	
3. 発達障害児(者)支援協力医療機関数	35機関	19機関(H22)	34機関(H30)	達成見込	
4. 障害者実雇用率	2.30%	1.80%(H23)	2.73%(H30)	目標達成	
5. 福祉施設から地域生活への移行者数	856人	495人(H23)	758人(H30)	達成見込	
6. 障害者就労系サービス事業所の平均工賃月額	16,279円	12,892円(H22)	14,940円(H30)	進展	
7. 障害者スポーツ活動団体数	38団体	22団体(H22)	31団体(H30)	進展	
8. 登録手話通訳者・要約筆記者の数	199名	49名(H23)	112名(H30)	進展遅れ	
政策ツール					(2)グループホーム等数(障害福祉サービス) 【達成見込】

主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業(H27～R3) (子ども生活福祉部)	県、市町村事業 各省計上	5百万円 (-)	軽度・中等度難聴児の健全な発達を支援するため、補聴器の購入等を支援する	【H30年度目標値】 購入事業を行う市町村数 24市町村	【H30年度実績】 購入事業を行う市町村数 24市町村	達成
障害児者福祉施設整備事業費(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 ハード交付金	77百万円 (62百万円)	障害者の地域における「住まいの場」の確保のため、グループホーム等の創設、老朽化援施設等を改築を行う	【H30年度目標】 ・整備支援件数 1件 ・改築・修繕助成件数 2件	【H30年度実績】 ・整備支援件数 5件 ・改築・修繕助成件数 3件	達成
発達障害者支援センター運営事業(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	197百万円 (98百万円)	発達障害児(者)を総合的に支援するため、沖縄県発達障害者支援センターを設置し、相談業務等を行う	【H30年度目標】 ・相談件数 600件 ・研修等の実施 150件	【H30年度実績】 ・相談件数 792件 ・研修等の実績 129件	達成
障害者就業・生活支援センター事業(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	212百万円 (106百万円)	障害者の就業生活の自立を図るため、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行う	【H30年度目標】 支援員の配置箇所(就労の定着) 5圏域	【H30年度実績】 支援員の配置箇所(就労の定着) 5圏域	達成
職場適応訓練事業費(H24～R3) (商工労働部)	県、事業者事業 各省計上	121百万円 (60百万円)	障害者等の雇用につなげるため、事業所での業務等の訓練を行う	【H30年度目標】 職場適応訓練受講者 30名	【H30年度実績】 職場適応訓練受講者 14名	進展遅れ
障害者等雇用開拓・定着支援事業(障害者等就業サポート)(H24～R3) (商工労働部)	県単事業	119百万円	働く障害者の就業定着を支援するため、アドバイザーによる相談、助言を実施する	【H30年度目標】 ・アドバイザー配置数 6人 ・企業等訪問件数 1,440件	【H30年度実績】 ・アドバイザー配置数 6人 ・企業等訪問件数 1,366件	達成
						(3)発達障害児(者)支援協力医療機関数 【達成見込】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 医療施設に従事する医師数(人口10万人あたり)	261人	227.7人(H22)	243.1人(H28)	進展遅れ
2. 看護師就業者数(人口10万人対比)	1,190.7人	881.2人(H24)	1,060.6人(H30)	進展
3. 新人看護職員離職率	6.3%	14.5%(H21)	4.8%(H29)	目標達成
4. 救急病院数	26施設	26施設(H23)	26施設(H30)	目標達成

背景・要因の分析

(1)医療施設に従事する医師数(人口10万人あたり)
【進展】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
県立新八重山病院整備事業(H24~H29)(保健医療部)	県事業 ハード交付金	8,152百万円(百万円)	八重山地域の医療を確保するため、県立八重山病院の建替を行う	【H29年度目標】 施設整備(進捗率) 100%	【H29年度実績】 施設整備(進捗率) 100%	達成
医学臨床研修事業費(H24~R3)(保健医療部)	県事業 ハード交付金	2,088百万円(百万円)	離島・へき地の医師を確保するため、県立病院において離島・へき地へ派遣する医師を養成する	【H30年度目標】 専攻医養成数 50人	【H30年度実績】 専攻医養成数 49人	概ね達成
医学臨床研修プログラム経費(H24~R3)	県単事業	597百万円	総合診療能力を身につけた医師を養成するため、県立中部病院の研修プログラムの管理、海外からの指導医の招聘を行う。	【H30年度目標】 指導医招聘数 11人	【H30年度実績】 指導医招聘数 9人	概ね達成
勤務医等環境整備事業(H24~R3)(保健医療部)	県単事業 各省計上	262百万円(百万円)	勤務医の就労環境の改善(仕事と家庭の両立等)に取り組む病院に対し補助する	【H30年度目標】 助成病院数 11病院	【H30年度実績】 助成病院数 12病院	達成
県立病院医師派遣補助事業(H24~R3)(保健医療部)	県事業 ソフト交付金	2,168百万円(百万円)	離島・へき地における医療提供体制を確保するため、病院事務局に補助を行い、必要な医師を確保する	【H30年度目標】 ・離島診療所派遣医師数 9人 ・北部・宮古・八重山病院への専門医派遣医師数 17人	【H30年度実績】 ・離島診療所派遣医師数 9人 ・北部・宮古・八重山病院への専門医派遣医師数 16人	概ね達成
へき地医療支援機構運営事業(H24~R3)(保健医療部)	県事業 各省計上	73百万円(百万円)	離島・へき地の医療提供体制を確保するため、離島・へき地での勤務を希望する医師の情報収集、代診医の派遣等を行う	【H30年度目標】 ・ドクターバンク登録医師数 203人 ・代診医派遣日数 120日	【H30年度実績】 ・ドクターバンク登録医師数 258人 ・代診医派遣日数 127日	達成

(2)看護師就業者数(人口10万人対比)
【進展遅れ】

(3)新人看護師離職率
【目標達成】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)救急病院数 【目標達成】
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
看護師等修学資金貸与事業費(H24～R3) (保健医療部)	県単事業	969百万円	看護職員の確保、資質の向上を目的として、県内医療機関に 従事しようとする者に修学資金 を貸与する	【H30年度目標】 修学資金貸与件数 250件	【H30年度実績】 修学資金貸与件数 282件	達成	
看護師等養成所の安定的な運営(H24～R3) (保健医療部)	県単事業	1,129 百万円	県内の看護師養成力の強化を 図るため、民間看護師養成所 の運営費等を助成する	【H30年度目標】 看護師国家試験合格率 98.0%	【H30年度実績】 看護師国家試験合格率 96.9%	概ね達成	
へき地保健指導所事業費(H24～R3) (保健医療部)	県、町村事業 各省計上	195百万円 (百万円)	へき地保健指導所への保健師 の配置、運営費を補助する	【H30年度目標】 無医地区等の保健指導所の運営 費補助件数 13件	【H30年度実績】 無医地区等の保健指導所の運営 費補助件数 11件	概ね達成	
認定看護師の育成事業(H24～R3) (保健医療部)	県単事業	71百万円	県内の看護の質の向上を図る ため、認定看護師等を育成す る	【H30年度目標】 ・認定看護師養成課程等への派 遣者数 30人 ・県内の認定看護師養成数 20人	【H30年度実績】 ・認定看護師養成課程等への派 遣者数 27人 ・県内の認定看護師養成数 20 人	概ね達成	
ヘリコプター等添乗医師等確保事業 (H24～R3) (保健医療部)	県、市町村事業 県単等	232百万円 (百万円)	離島の急患搬送体制を確保す るため、自衛隊等の航空機へ 添乗する医師等を派遣する協 力病院の運営費等を補助する	【H30年度目標】 ヘリコプター等添乗協力病院数 12病院	【H30年度実績】 ヘリコプター等添乗協力病院数 12病院	達成	
救急医療用ヘリコプター活用事業 (H24～R3) (保健医療部)	浦添総合病院 各省計上 一括交付金	1,551 百万円 (百万円)	救急医療用ヘリコプターの安 定的、継続的な運航を支援す る	【H30年度目標】 搬送件数(県内) 353件	【H30年度実績】 搬送件数(県内)444件	達成	
災害時の救急医療体制の充実(H24～R3) (保健医療部)	県、救急病院等 各省計上	161百万円 (百万円)	災害時に迅速な救急医療活動 の展開を図るため、DMATの 養成、広域災害救急医療情報 システムの運用を行う	【H30年度目標】 沖縄県内のDMAT数 22チーム	【H30年度実績】 沖縄県内のDMAT数 22チーム	達成	
小児救急電話相談事業(#8000) (H24～R3) (保健医療部)	県単事業	89百万円	救急医療機関の適切な受診を 促し、医療従事者の負担軽減 を図るため、電話相談窓口「# 8000」を実施する	【H30年度目標】 小児救急電話相談件数 8,000件	【H30年度実績】 131,153件	達成	

沖縄振興計画 検証シート（健康福祉）

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
村立診療所人工透析 設備整備事業(H24～ H25) (伊江村)	市町村事業 ソフト交付金	490百万円 (385百万円)	人工透析患者の住民が離島である本村において、安心してくらするとともに、人工透析が必要な観光客に対し、安心・安全な観光を提供するため、人工透析施設を整備する	【H25年度目標値】 人工透析施設整備完了	【H25年度実績】 人工透析施設整備完了	達成	
救急搬送車両の整備 (H25～H29) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	35百万円 (28百万円)	小規模離島村における救急搬送車両の整備	救急搬送車両の整備	【H25～H29年度実績】 達成市町村の割合100%	達成	
税制等							
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況			
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-エ 福祉セーフティネットの形成

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1.	日常生活自立支援事業利用者数	659人	477人(H23)	655人(H30)	達成見込
2.	コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数・配置人数	41市町村、150人	10市、10人(H24)	28市町村、92人(H30)	進展
3.	避難行動要支援者名簿作成等の推進	41市町村(100%)	15市町村(36.5%)(H24)	41市町村(H30)	目標達成
4.	民生委員・児童委員の充足率	97.8%	88.2%(H22)	86.2%(H30)	進展遅れ
5.	県内市町村社協へ登録しているボランティア団体に加入している会員の総数	29,000人	17,377名(H23)	24,446人(H30)	進展
6.	公営住宅管理戸数	29,676戸	29,834戸(H23)	30,038戸(H30)	目標達成

(1)日常生活自立支援事業利用者数
【達成見込】

(2)コミュニティソーシャルワーカー配置市町村数・配置人数
【進展】

政策ツール

主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
日常生活自立支援事業 (H24～R3) (子ども生活福祉部)	社会福祉協議会 各省計上	620百万円 (310百万円)	判断能力が不十分な方の地域での自立生活のため、福祉サービスの利用援助事業や従事者の資質の向上のための事業等に補助する	【H30年度目標】 日常生活自立支援事業 利用者数 604人	【H30年度実績】 日常生活自立支援事業 利用者数 655人	達成
地域福祉推進事業費 (福祉活動指導員設置費) (H24～R3) (子ども生活福祉部)	社会福祉協議会 県単事業	97百万円	沖縄県社会福祉協議会が行うコミュニティソーシャルワーカー育成のための取組に補助する	【H30年度目標】 ・配置市町村数 32市町村 ・配置人数 104人	【H30年度実績】 ・配置市町村数 28市町村 ・配置人数 92人	概ね達成
災害時要支援者避難計画促進事業 (H25～R3) (子ども生活福祉部)	県事業 各省計上	31百万円 (0.4百万円)	災害時の避難行動要支援者の支援体制構築のため、アドバイザーを活用(研修会等)し、市町村の全体計画や個別計画等の策定を支援する	【H30年度目標】 避難行動要支援者名簿の 作成状況 36市町村	【H30年度実績】 避難行動要支援者名簿の 作成状況 41市町村	達成
民生委員・児童委員活動の推進(H24～R3) (子ども生活福祉部)	県、市町村事業 県単事業	610百万円	民生委員に対する研修の実施や制度・活動に対する広報活動など、民生委員が活動しやすい環境の整備に取り組む	【H30年度目標】 民生委員の年間活動日数 202,250日	【H30年度実績】 民生委員の年間活動日数 184,628日	概ね達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-エ 福祉セーフティネットの形成

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
地域福祉推進事業費 (生涯現役活躍支援事業) (H24～R3) (子ども生活福祉部)	県 社会福祉協議会 各省補助	81百万円 (40百万円)	地域で支え合う福祉社会の実現のため、ボランティア・市民活動支援センターの設置、市町村社会福祉協議会ボランティア担当研修等を実施する	【H30年度目標】 県内市町村社協へ登録しているボランティア団体に加入している会員の総数 27,500人	【H30年度実績】 県内市町村社協へ登録しているボランティア団体に加入している会員の総数 24,446人	概ね達成
公営住宅整備事業 (H24～R3) (土木建築部)	県、市町村事業 ハード交付金	21,376百万円 (13,840百万円)	住宅に困窮する低額所得者のため、公営住宅の整備を推進する	【H30年度目標】 公営住宅着工戸数 481戸	【H30年度実績】 公営住宅着工戸数 245戸	達成
居住支援協議会での住宅確保要配慮者への居住支援 (H24～R3) (土木建築部)	県、市町村等事業 内閣府補助	25百万円 (12百万円)	住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居促進のため、自治体、不動産関係団体、居住支援団体から成る「沖縄県居住支援協議会」を支援する	【H30年度目標】 説明会等での周知活動 1回	【H30年度実績】 説明会での周知活動 9回	達成

(3)避難行動要支援者名簿作成等の推進
【目標達成】

(4)民生委員・児童委員の充足率
【進展遅れ】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
—				

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-エ 福祉セーフティネットの形成

政策ツール			背景・要因の分析									
<p>努力義務・配慮義務・特例措置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)							<p>(5)県内市町村社協へ登録しているボランティア団体に加入している会員の総数 【進展】</p> <p>(6)公営住宅管理戸数 【目標達成】</p>
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)										

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-オ 保健衛生の推進

成果指標						背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
1. 食中毒発生件数	25件	35件(H22)	29件(H30)	進 展	(1)食中毒発生件数 【進展】 (2)結核患者罹患率(人口10万対) 【進展遅れ】	
2. 結核患者罹患率(人口10万対)	10.0	18.7(H22)	15.7(H29)	進展遅れ		
3. 麻しん予防接種率	95.0%	92.2%(H22)	93.6%(H29)	進 展		
4. 難病患者における就労相談件数	265件	67件(H24)	336件(H30)	目標達成		
5. 自殺死亡率(人口10万人当たり)	17.0	25.5(H22)	17.0(H29)	目標達成		
6. ハブ咬症者数	76人	96人(H21)	49人(H30)	目標達成		
7. ハブクラゲ刺症被害者数	112人	91人(H22)	69人(H30)	目標達成		

政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
食品衛生対策(H24~R3)(保健医療部)	県単事業	218百万円	食品取扱施設において、監視指導計画に基づく検査を実施する	【H30年度目標】 監視指導計画に基づく検査実施率100%	【H30年度実績】 監視指導計画に基づく検査実施率120%	達 成
結核対策(H24~R3)(保健医療部)	県事業 県単 各省計上	272百万円 (百万円)	結核患者の確実な治療を行うため、地域DOTS(患者の服薬支援)等を推進する	【H30年度目標】 前年に登録された全結核患者等に対するDOTS実施率 95.0%	【H30年度実績】 前年に登録された全結核患者等に対するDOTS実施率 97.9%(H29年度)	達 成
予防接種の推進(H24~R3)(保健医療部)	県、市町村事業 県単 各省計上	857百万円 (百万円)	予防接種の接種率向上を図るため、市町村予防接種従事者研修会を開催する	【H30年度目標】 予防接種従事者研修会の実施 1回	【H30年度実績】 予防接種従事者研修会の実施 1回	達 成

(3)麻しん予防接種率
【進展】

沖縄振興計画 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-オ 保健衛生の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(4)難病患者における就労相談件数 【目標達成】</p> <p>(5)自殺死亡率(人口10万人当たり) 【進展】</p> <p>(6)ハブ咬症者数 【目標達成】</p> <p>(7)ハブクラゲ刺症被害者数 【目標達成】</p>
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費) (百万円)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
難病特別対策推進事業 (H24～R3)(保健医療部)	県事業 各省計上	158百万円 (百万円)	療養中の患者家族等に対し、医療相談支援等を実施する	【H30年度目標】 難病相談実施件数2,200件	【H30年度実績】 難病相談実施件数2,157件	達成	
自殺対策強化事業(H24～R3)(保健医療部)	県、市町村事業 各省計上	430百万円 (百万円)	自殺対策強化事業を県、市町村、民間団体で実施する	【H30年度目標】 自殺対策強化事業及び独自財源による実施市町村数30市町村	【H30年度実績】 自殺対策強化事業及び独自財源による実施市町村数34市町村	達成	
自殺予防事業(H24～R3)(保健医療部)	県事業 各省計上	3百万円 (百万円)	内科医、精神科医、医療従事者等に対し、うつ病等に関する研修を実施する	【H30年度目標】 研修受講者数130人	【H30年度実績】 研修受講者数109人	概ね達成	
抗ハブ毒ヒト抗毒素の実用化事業(H24～R3)(保健医療部)	県事業 ソフト交付金	181百万円 (百万円)	製剤基準外致死毒の分離方法の研究等に取り組む	【H30年度目標】 ・新規毒性成分の分離 ・迅速検出キットの試作	【H30年度実績】 ・新規毒性成分の分離 ・迅速検出キットの試作	達成	
危険外来種咬症根絶モデル事業(H24～R3)(保健医療部)	県事業 ソフト交付金	92百万円 (百万円)	外来ハブ類駆除モデル実験及び新たな防除手法の予備実験を行う	【H30年度目標】 防除方法の検証(トラップ設置300台)	【H30年度実績】 防除方法の検証(トラップ設置300台)	達成	
抗毒素配備事業(H24～R3)(保健医療部)	県事業 ソフト交付金	28百万円 (百万円)	ハブ咬症時の治療薬であるウマ抗毒素を購入し、県内の医療機関に無償で配備する	【H30年度目標】 抗毒素配備医療機関数31機関	【H30年度実績】 抗毒素配備医療機関数32機関	達成	
危険生物対策(H24～R3)(保健医療部)	県単事業	4百万円	海洋危険生物の小冊子等を作成し、各関係機関へ配布する 海水浴場管理者等関係者に対し、講習会を実施する	【H30年度目標】 ハブ・ハブクラゲ等危険生物講習会の開催	【H30年度実績】 ハブ・ハブクラゲ等危険生物講習会参加者 60名	達成	

沖縄振興計画 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
施策展開番号・名称	2-(3)-オ 保健衛生の推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
施策展開番号・名称	2-(6)-イ 高度 情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率(県全体) (※参考 基盤利用率) (※参考 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率(離島))	100.0% (56.6%) (100.0%)	87.3%(H23年度) (30.6%) (52.3%)	98.0% (H30年度)	達成見込
2. 電子申請利用件数(県民向け)	18,000件	5,910件(H23年度)	37,814 (H30年度)	目標達成
3. 総合型GISの閲覧件数	180,000件	41,354件(H23年度)	111,928件 (H30年度)	進 展

背景・要因の分析

(1)超高速ブロードバンドサービス基盤整備率
【達成見込】

(2)電子申請利用件数(県民向け)
【目標達成】

(3)総合型GISの閲覧件数
【進 展】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
情報通信基盤の整備 (H28～R2) (企画部)	県事業 ソフト交付金	2,742百万円 (2,193百万円)	条件不利地域における都市部との情報格差は正や高度な情報通信技術の活用環境の形成を図るため、情報通信基盤の整備に取り組む	【H30年度目標】 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率 6.6%	【H30年度実績】 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率 6.6%	達 成
県立学校インターネット推進事業 (H24～R3) (教育庁)	県単事業	104百万円	県立学校において、ネットワークを効果的に活用するため、超高速インターネット接続への切り替えの整備推進を図る	【H30年度目標】 超高速インターネット接続率98.1%	【H30年度実績】 超高速インターネット接続率96.2%	達 成
統合型地理情報システム整備事業 (H24～R3) (企画部)	県単事業	85万円	県が保有する各分野における地理情報を共有・提供し、業務の効率化・高度化を図ることを目的に、統合型地理情報システム(統合型GIS)を導入・活用する	地図情報システムにおける累計処理マップ数 123件	地図情報システムにおける累計処理マップ数 177件	達 成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅱ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
施策展開番号・名称	2-(6)-イ 高度 情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
税制等							
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況			
努力義務・配慮義務・特例措置							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(3) 情報通信関連産業の高度化・多様化
施策展開番号・名称	3-(3)-エ 情報通信基盤の整備

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 沖縄国際情報通信ネットワークの利用通信容量数	600 Gbps	80 Gbps (H28)	102Gbps (H30)	進展遅れ
2. 沖縄IT津梁パーク企業集積施設数	10棟	0棟 (H22)	5棟 (H30)	進展

背景・要因の分析

(1)沖縄国際情報通信ネットワークの利用通信容量数
【進展遅れ】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
アジア情報通信ハブ形成促進事業(H25~R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	7,519百万円 (6,015百万円)	アジアー沖縄ー首都圏間を直接接続する国際海底光ケーブルを敷設し、国内外向け情報通信基盤を拡充するとともに、沖縄GIXと連携した冗長化構成を構築する	【H27年度】 国際海底光ケーブル運用開始 【H30年度】 国際海底光ケーブル利用通信容量数 300Gbps	【H27年度実績】 国際海底光ケーブル運用開始 【H30年度実績】 国際海底光ケーブル利用通信容量数 102Gbps	進展遅れ
戦略的通信コスト低減化支援(H24~R3) (商工労働部)	県単事業	391百万円	県内企業に対し、沖縄・本土間の情報通信費の一部を補助することで、県内立地や雇用拡大を図る	【H30年度】 情報通信費低減化支援利用企業数 15社	【H30年度実績】 情報通信費低減化支援利用企業数 10社	進展
クラウドデータセンター基盤の構築(H24~R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	7,136百万円 (3,018百万円)	新たな高付加価値サービスの創出や企業データのバックアップ・リスク分散化拠点を形成するため、クラウドデータセンターを整備する	【H29年度】 増設工事完了 【H30年度】 運用実施	【H29年度実績】 増設工事完了 【H30年度実績】 運用実施	達成
沖縄クラウドネットワーク利用促進事業(H25~R3) (商工労働部)	県単事業	7.2百万円	沖縄クラウドネットワークを活用したビジネスモデルを構築する企業に対し経費の一部を支援することで、県内の通信コスト等の低減化を図る。	【H30年度】 システム構築支援件数 4件	【H30年度実績】 システム構築支援件数 3件	概ね達成
沖縄IT津梁パーク運営事業(H21~) (商工労働部)	県単事業	1,829万円	沖縄IT津梁パークの管理運営や、入居企業・外部利用者に対する良質なサービスをするほか、同パークへの企業の立地促進に取り組む	【H30年度】 入居企業数 31社	【H30年度実績】 入居企業数 28社	達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(3) 情報通信関連産業の高度化・多様化
施策展開番号・名称	3-(3)-エ 情報通信基盤の整備

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
企業集積施設の整備促進(H24～) (商工労働部)	県単事業	1,110万円	沖縄IT津梁パーク内に、民間資金により整備する企業集積施設を誘致し、企業の集積促進と雇用の創出を図る	【H29年度～H33年度】 新規施設1棟	【H30年度実績】 企業集積施設4号棟及び5号棟の供用開始	達成
アジアビジネス集積拠点整備事業(H28～R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	1432百万円 (1146百万円)	国内・アジア企業と県内企業とが一带となった開発案件を沖縄で展開するための集積拠点施設を整備する	【H29年度】 実施設計完了 【H30年度】 新築工事	【H29年度】 実施設計完了 【H30年度】 関係機関との調整 (令和元年度着工予定)	進展
情報通信基盤の整備(H28～R2) (企画部)	県事業 ソフト交付金	2,742百万円 (2,193百万円)	条件不利地域における都市部との情報格差是正や高度な情報通信技術の利活用環境の形成を図るため、情報通信基盤の整備に取り組む	【H30年度目標】 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率 6.6%	【H30年度実績】 超高速ブロードバンドサービス基盤整備率 6.6%	達成
南城市超高速通信サービス整備事業(H24～H25) (南城市)	市町村事業 ソフト交付金	187百万円 (150百万円)	企業誘致、雇用促進を図るため、市内全域に超高速通信サービスを整備する	【H25年度目標】 超高速通信サービスの整備完了	【H25年度実績】 超高速通信サービスの整備完了	達成

(2)沖縄IT津梁パーク企業集積施設数
【進展】

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ア 研究開発・交流の基盤づくり

成果指標

成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 自然科学系高等教育機関の研究者数	863人	751人(H23)	862人(H30)	達成見込み
2. 自然科学系高等教育機関の外国人研究者数	311人	110人(H23)	252人(H30)	達成見込み
3. 自然科学系の国際セミナー等開催数	82件	16件(H23)	47件(H30)	進展遅れ

背景・要因の分析

(1)自然科学系高等教育機関の研究者数
【達成見込み】

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種類別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
外国人研究者等の生活環境整備(H24～R3)(企画部)	県単事業	131百万円 ※H24～H29	国内外から優れた研究者やその家族の受け入れ等を促進するため、住宅等の周辺環境整備を進める	【平成29年度目標】 大学院大学周辺整備に係る検討委員会の開催1回	【平成29年度実績】 大学院大学周辺整備に係る検討委員会の開催1回	達成
沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議(H24～R3)(企画部)	県単事業	2百万円	OISTが主催する小中高生を対象とした科学教室等、人材育成や産業振興につながる取組を支援	【平成30年度目標】 総会の開催1回	【平成30年度実績】 総会の開催1回	達成
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター機器整備事業(H24～R3)(商工労働部)	県事業 ハード交付金	467百万円 (369百万円)	最先端の研究機器等の整備を行い、バイオ関連企業等の研究開発及び事業化を支援するとともに、バイオ関連企業の集積を促進する	最先端機器の導入 H26年度 18機種 H27年度 13機種	最先端機器の導入実績 H26年度 18機種 H27年度 13機種	達成
沖縄科学技術大学院大学学園関連経費(H23～)(内閣府)	国直轄事業	122,306百万円 (122,306百万円) ※H24～H30	沖縄科学技術大学院大学(OIST)における新たな研究棟の建設や新規教員の採用などOISTの規模拡充に向けた取組を支援するとともに、OIST等を核としたイノベーション・エコシステム形成の推進を図る	全掲載論文数に対するHigh quality82誌への掲載論文数の割合 0.15-0.25	【H30年度実績】 0.2	達成

(2)自然科学系高等教育機関の外国人研究者数
【達成見込み】

(3)自然科学系の国際セミナー等開催数
【進展遅れ】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-ア 研究開発・交流の基盤づくり

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
国際共同研究拠点構築 (H24～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	1,235百万 (988百万)	本県の研究ポテンシャルや地域特性を活用した国際共同研究に対し支援を行い、国外研究機関との組織間・研究者間のネットワークを構築	【平成30年度目標】 海外との研究ネットワーク構築に向けた国際共同研究支援 1件	【平成30年度実績】 海外との研究ネットワーク構築に向けた国際共同研究支援 1件	達成
研究交流・情報発信拠点の形成促進 (H28～H30) (企画部)	県事業 県単独	—	県内高等教育機関等から生み出される研究成果を国内外へ発信していくため、セミナーやシンポジウム等を開催	【H30年度目標】 セミナー、シンポジウム等の開催 20回	【H30年度】 セミナー、シンポジウム等の開催 17回	概ね達成

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
		・
		・
		・
		・

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-イ 知的・産業クラスター形成の推進

成果指標							背景・要因の分析
成果指標		目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況		
1.	研究開発型ベンチャー企業数	56社	32社(H23)	61社(H30)	目標達成		
2.	先端医療分野における研究実施件数(累計)	19件	3件(H23)	19件(H30)	目標達成		
3.	県内における共同研究実施件数	265件	87件(H23)	186件(H30)	進展		
政策ツール							(1)研究開発型ベンチャー企業数 【目標達成】
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業(H27～R1) (企画部)	県事業 ソフト交付金	800百万円 (640百万円)	大学等の研究シーズと県内外企業のニーズのマッチングを行い、事業化に向けた共同研究等の取組を支援	【H30年度】 大学と企業が共同した基礎研究の実施 28件 製品化に向けた応用研究の実施 3件	【H30年度実績】 大学と企業が共同した基礎研究の実施 30件 製品化に向けた応用研究の実施 3件	達成	
成長分野リーディングプロジェクト創出事業(H29～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	368百万円 (294百万円)	成長が期待される「健康・医療」「環境・エネルギー」分野において、県内大学等を含む産学共同研究を支援	【H30年度】 産学協同研究の実施 5件	【H30年度実績】 産学協同研究の実施 5件	達成	
先端技術活用によるエネルギー基盤研究事業(H29～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	340百万円 (272百万円)	供給源の多様化によるエネルギーの安定供給に寄与するため、先端技術を活用したエネルギー分野の共同研究を支援	【H30年度】 先端技術を活用したエネルギー分野の産学共同研究への支援 4件	【H30年度実績】 先端技術を活用したエネルギー分野の産学共同研究への支援 3件	概ね達成	
研究開発補助金や投資ファンドによるハンズオン支援(H24～R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	1,311百万円 (1,016百万円)	ベンチャー企業等の研究開発費補助とともに研究成果の事業化に向けた専門家によるハンズオン支援を実施	【H30年度】 採択企業による商品化(H26からの累積) 10件	11件	達成	
沖縄県医療産業競争力強化事業(H27～R1) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	441百万円 (353百万円)	医薬品・医療機器等の開発における研究開発や、事業化の加速に資する基盤技術開発への支援	【H30年度】 事業化に向けた基盤構築等への補助 3件	【H30年度実績】 事業化に向けた基盤構築等への補助 3件	達成	
							(2)先端医療分野における研究実施件数(累計) 【目標達成】
							(3)県内における共同研究実施件数 【進展】

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
施策展開番号・名称	3-(5)-イ 知的・産業クラスター形成の推進

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
先端医療技術の実用化に向けた研究支援 (H25～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	661百万円 (529百万円)	再生医療や疾患ゲノム研究等、先端医療等技術・製品の実用化を目指す研究を支援	【平成30年度】 (再生医療)臨床研究の実施 (疾患ゲノム)論文の発表	【平成30年度】 (再生医療)臨床研究の実施 (疾患ゲノム)論文の発表	達成
先端医療産業開発拠点形成に向けた取組 (H25～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	1,468百万円 (1,174百万円)	再生医療の実現に向けた産業技術開発、及び開発した再生医療関連機器の安全性試験・評価試験の実施	【H30年度】 先端医療分野における研究 実施件数(累計) 14件	【H30年度】 先端医療分野における研究 実施件数(累計) 19件	達成
感染症分野の研究成果の社会実装に向けた研究支援 (H24～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	1,147百万円 (918百万円)	感染症に関する共同研究、及び研究成果の社会実装に向けた研究開発の支援	【平成30年度】 企業等が行う感染症分野の研究開発に対する補助件数2件	【平成30年度】 企業等が行う感染症分野の研究開発に対する補助件数2件	達成

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)
		.
		.
		.
		.